

制度改正後初

農業委員・推進委員決まる

- ▶山崎市長から農業委員へ初めて任命通知書を交付
- ▶農地法等について熱心に学ぶ委員



第23期農業委員会の各委員が7月20日、決まりました。制度改正により農業委員会委員（以下、農業委員）が市長の任命制となったほか、新たに農地利用最適化推進委員（以下、推進委員）が設けられました。

任期は平成32年まで

市長から任命通知書を受けた農業委員はこの日、総会を開催。互選により会長を三和喜治さん（上八田町）、同職務代理者を鎌部勉武さん（五津合町）に決定するなどしました。

その後、会長から推進委員に委嘱状を交付。府農業会議の職員を講師に農地売買や転用の要件、利用権設定、農地利用の最適化などについての研修会を行いました。

農業委員、推進委員とも任期は平成32年7月19日までの3年間。委員は次の皆さんです（敬称略・順不同。※は再任）。



農業委員会
三和喜治 会長

農地の荒廃を防ぎたい

これまで農業委員として参加した農地相談会では、「高齢化でいつ耕作できなくなるか」と心配する声をよく聞きました。推進委員や協力員の皆さんとよく話し合い、協力して荒廃農地が増えないよう取り組んでいきたいと思います。

ことば

農業委員

農地の売買・貸借、転用などの許可等、について審議を行う。今期は、19人の委員のうち10人が認定農業者等。女性委員は3人。

農地利用最適化推進委員

集落や中間管理機構、農業委員などと連携して農地利用の最適化を推進。新設された委員で17人が委嘱を受けた。

農業委員会協力員

農地利用状況調査など、集落における農業委員会の活動に協力。自治会推薦で157人。

農業委員

- ▽四方論（味方町）▽林多嘉子（月見町）▽雨林利治（高津町）▽塩見和明※（有岡町）
- ▽三和喜治※（上八田町）▽梅原茂昭（七百石町）▽柏原明宏（上杉町）▽白波瀬一幸（鷹栖町）▽久後靖代（和木町）▽高橋大治郎※（忠町）▽福井智徳美※（位田町）▽大槻耕治

推進委員

- （館町）▽森方義孝（私市町）▽植田壽良※（物部町）▽根謹一（篠田町）▽梅原久夫※（仁和町）▽大山勇※（睦合町）▽鎌部勉武※（五津合町）▽渡邊要治（睦寄町）

- ▽安村武（井倉町）▽上原裕（安場町）▽四方康（高倉町）▽梅原俊昭（岡安町）▽西野栄二（梅迫町）▽谷垣正義（上原町）▽角山國男（忠町）▽田中晃（位田町）▽佐々木清志（栗町）▽大槻智（大島町）▽大槻祐紀（西坂町）▽藤原琢己（物部町）▽井上吉夫（志賀郷町）▽白波瀬一雄（別所町）▽岸本章三（八津合町）▽森本幸（五津合町）▽仲久保弘志（故屋岡町）

市功労者等を表彰

市は8月1日、功労者等表彰式を開催。功労者1人、寄付をいただいた篤志者5人・1団体、スポーツや地域振興等で功績のあった分野別功労者8人・7団体を表彰しました。被表彰者は次の皆さん(敬称略、順不同)。

功労者

田所 卓(本町二丁目)

昭和55年4月から市文化協会の理事や副会長などを歴任。平成17年4月から12年間にわたり同協会会長を務めるなど、個性あふれる市民の文化芸術の振興に尽力されました。さらに、平成4年10月か

分野別功績者

海老ヶ瀬順子(白道路町)▽大島祐哉(東京都)▽蒲田正樹(東京都)▽清水颯太(上延町)▽永井廉(味方町)▽樋口優人(上延町)▽丸岡凜子(青野町)▽森津一男(八津合町)▽府立綾部高等学校硬式野球部(岡町)▽同東分校(川糸町)▽綾部ファイターズ(宮代町)▽京セラ京都綾部工場(味方町)▽さとうバザールタウン綾部アスパ(綾中町)▽七不思議伝説の里・志賀郷地域振興協議会(志賀郷町)▽由良川サケ環境保全実行委員会(駅前通り)

篤志者

竹内早智子(栗町)▽出口紅(亀岡市)▽永井修(館町)▽前田道子(寺町)▽由良源太郎(本町一丁目)▽三ツ星ベルト(神戸市)



14人・8団体を表彰



謝辞を述べる田所さん

善聞語録

90



北風より太陽

北風と太陽が、旅人の上着を脱がせることができるか力比べをするイソップ寓話がある。北風は力づくで上着を吹き飛ばそうとして失敗するが、太陽は燦燦と照り付けることで旅人が自ら上着を脱ぎ、勝負が決した話である。転じて物事に対して厳罰で臨む態度と、寛容に対応する姿勢の対比を論ずる例として用いられる。

米国留学中の講義で、アメリカ人は恐怖心を煽つた方が生産性の上がる傾向が強いが、日本人は逆に安心を与えた方がより頑張る国民性であると紹介されたことを思い出す。因って米国で

は徹底して成果主義を導入し解雇をもちろつかせる経営が主であるのに対し、日本では年功序列や終身雇用をもって愛社精神を涵養し、滅私奉公を是とするとの説明であった。

地方創生の論拠となったのは「増田レポート」と呼ばれる報告書だが、その中で896の自治体を消滅可能と名指しで公表したためその反響は大きかった。いわば「北風」作戦の如く恐怖心を煽り危機感を植え付けることを目論んだのであるが、結果として自治体の多くに「諦め」と「絶望」だけが残つたのもまた事実である。水源の里のアドバイザリーである小田切徳美・明治大学農学部教授は、地域振興こそ「太陽」作戦で臨むべきと論じる。地方創生には忍耐を要するが、性急に果を迫るより地道に頑張るしか道は拓けないとの強いメッセージと捉える。

山崎善也(綾部市長)



英語指導講師（ALT）と触れ合い、学ぶ「イングリッシュ・キャンプ」。本年度から4年生にも対象を拡大しました。5、6年生とあわせて119人が参加。ゲームの要素を取り入れた英語プログラムや模擬体験を楽しみながら2日間を過ごしました。7月25、26日、東綾小・中一貫校で。



昨年度に引き続き実施した「飛び立て！中学生海外派遣事業」。今年は8月1～10日の日程で15人の中学生をオーストラリア連邦アデレード市のハレットコブ校に派遣しました。現地の一般家庭にホームステイして通学。歴史や文化を学び、校外学習などで現地生徒と交流しました。



国際理解教育を積極的に展開

世界へはばたけ あやべっ子

ふるさと教育、キャリア教育、国際理解教育を3つの特色として掲げる本市の小中一貫教育。外国への興味・関心と英語の技能を高め、国際社会で主体的に活躍する子どもの育成を目指す取り組みを紹介します。

本市独自のプログラム多彩に

小学校では主に英語に触れる機会づくりを実施。本市と包括連携協定を結ぶ京都工芸繊維大学等の留学生との交流事業のほか、遊びを通して英語を学ぶ「イングリッシュ・キャンプⅡ上Ⅰ」を行っています。

中学校ではさらに一歩踏み込み、英語を使い、親しむ機会を創出。▽英語のプレゼンテーション大会「英語サミット」▽オーストラリアでホームステイする「飛び立て！中学生海外派遣事業Ⅱ左Ⅱ」▽本市と包括連携協定を結ぶ京都産業大学のキャンパスを同大学の留学生と巡る「イングリッシュ・キャンパス」を行っています。



各小学校での英語教育の中心となる教員の養成を目的として、8月に5日間開催した研修会。ALTを講師に、英語の魅力的な指導方法や語学力の向上についての講義が行われました。

また、生徒宅でのオーストラリアの学生のホームステイの受け入れや英語検定料の助成、本市独自のミニ英検にも取り組んでいます。

英語教科化へ教員を養成

学習指導要領の改訂により、平成32年度に始まる小学5・6年生の英語教科化と3・4年生の外国語活動必須化。小学校の教員の準備も進んでいます。

本年度は「小学校英語教育推進リーダー養成研修会」を初開催Ⅱ右。また平成29、30年度は豊里小学校が府教委の「学力向上システム開発校」となり、外国語教育をするための方策等について研究を重ねています。



コミュニティナースが一日看護部長

7月22日、青野町の市立病院でふれあい看護体験が行われました。府立綾部高等学校をはじめ10校から計39人の高校生とコミュニティナース3人が参加。患者の血圧や脈を測るなどして、看護を体験しました。また最後には、一日看護部長を務めたコミュニティナースの鍋島野乃花さんが講演＝写真。「コミュニティナースの活動を通して、地域の方が楽しく生活ができるようサポートしたい。ここにいる皆さんと、看護師として会えることを楽しみにしています」と語りかけました。

綾高硬式野球部 42年ぶりのベスト4

府立綾部高等学校硬式野球部が42年ぶりに全国高等学校野球選手権京都大会で4強入りを果たしました。春季大会で63年ぶりに準優勝し、シード校として臨んだ今大会。久御山に9回裏の4点差を逆転して7-6、南丹に5-2、菟道に7回コールドの9-2、塔南に無失策で1-0と、熱戦を繰り広げました。（写真は7月24日、同大会を制した京都成章との準決勝（1-5）を終え、健闘をたたえ合う選手ら）。



あやべ
ベスト4
ベスト4



中・奥上林分団、 平成30年度に統合へー

市消防団（白波瀬博之団長）は7月25日、市消防団統合準備委員会での検討結果を報告書にまとめ、山崎市長に提出しました＝写真。その内容は平成30年4月1日に中・奥上林分団を「上林分団」として統合すること等。団本部と両分団本部で組織する同委員会では、団員を確保し地域の安全・安心を守ることが最重要課題として協議を重ねていました。市も現在の上林分遣所を10月から24時間化。消防団と協力して地域の安全・安心を守っていきます。

入館者30万人に一市天文館

市天文館の入館者が8月4日に30万人を突破。福知山市から訪れた（写真左から）藤原理恵さん、蒼太郎君と荻野玲愛ちゃん、紗弥佳さん、桜充君が記念の入館者となり、足立雅和教育長とともにくす玉を割って祝いました。国内最大級の95センチ反射望遠鏡を備え惑星や銀河も観測できる同施設。平成7年の開館以来、天文だけでなく工作教室や体験教室も積極的に開催し、生涯学習の場として親しまれています。

